



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

アメダスは雨を測るから「雨だす」？

—アメダス命名にまつわる秘話—

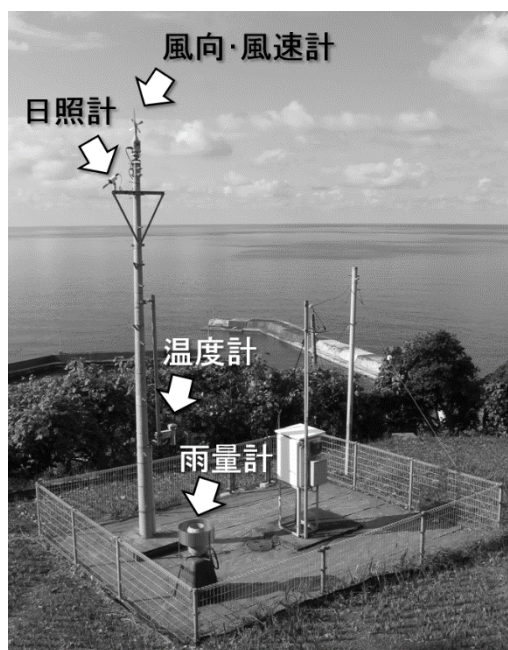
テレビの天気予報などで毎日のように登場するアメダス、雨を測るから「雨だす」と、気象庁も関西弁でなかなかしゃれとんしゃーねと思っている方も多いのではないのでしょうか。しかし実はこのように単純なネーミングではなく、アメダスという名前にはきちんとした意味があります。今回はアメダスの命名にまつわる秘話とそもそもアメダスとは何？という素朴な疑問にお答えします。

アメダスの誕生は今から40年以上前の1970年代の中頃のことです。それまでの気象観測は温度計などで測ったデータを人間が読み取り、この数字を並べた電報をモールス信号として電波に乗せて送り、受け取った側では元の数字、つまり観測されたデータに還元して地図に書き込む、という今から見ると原始的な方法で観測やデータの収集を行っていました。しかし、これは人手がかかるだけでなく、連続的に観測できるわけではないため時々刻々と変化する状況を把握するには不十分でした。また観測のために人を配置しなければならないことから、観測地点を増やすことも容易ではありませんでした。一方で集中豪雨のように非常に強い雨が狭い範囲に集中し、短時間で降り方が大きく変化するような現象を捉えるためには、多くの観測地点における頻繁な観測、つまり高密度・高頻度の観測が不可欠となってきました。

そこで、自動的に観測を行い、全国に張り巡らされた日本電信電話公社(現NTT)の電話回線を使ってデータを短時間で収集するシステムが考案されました。これがアメダスです。

アメダスは日本語の正式な名称は地域気象観測システムですが、英語では Automated Meteorological Data Acquisition System と呼び、これを直訳すると自動気象データ収集システムになります。Acquisition という単語はあまり馴染みがないかもしれませんが、取得、収集という意味があります。観測のためのシステムでありながら観測を意味する Observation ではなく Acquisition を使ったところがミソで、観測の自動化もさることながらデータ収集の自動化、迅速化が導入にあたって大きな意味をもっていたことが、英語のネーミングからもわかります。

これを当初は単語の頭文字を並べて AMDAS という略称にしようという案が出ました。これは誰でも思いつきそうな平凡なアイデアですが、アムダスという読みでは気象と結び付けるには今一つインパクトに欠けます。そこで、2番目の単語 Meteorological (気象) は2文字目までとって e を加え AMeDAS にすることで読みがアメダスとなり、語呂が「雨出す」に通じることから、これが正式な略称に採用されたという歴史があります。現在では正式なフルネームは知らなくてもアメダスというニックネームは、毎日のようにテレビなどに登場し広く知れ渡っています。つまり冒頭の「雨だす」という関西弁の語呂合わせは必ずしも的外れではないのです。



ただし、アメダスは雨だけを測っているわけではありません。テレビの気象情報の番組やインターネットなどでは、気温や風など雨以外のデータも登場します。現在のアメダスでは、降水量のほかに気温、風向・風速および日照時間も観測しています。このほか、雪が多い地方では積雪の深さを測る装置を備えた観測所もあります。雨以外も観測するアメダスは全国に約 930 か所あります。これには気象台や空港なども含みます。このほかに雨量のみを観測している地点もあり、これを合わせると北は北海道の稚内から、南は沖縄県の波照間島、東京都に含まれる小笠原の南鳥島まで全国に約 1,300 か所のアメダス観測所があります。福岡県内には 20 か所のアメダスがあり、このうち 14 か所が雨以外も観測しています。

全国約 1,300 か所で観測されたデータが 10 分ごとに集められ、そのデータは気象庁の予報や警報を発表するための資料として利用されるほか、テレビのデータ放送やインターネットなどで最新の観測データが家庭にも届けられています。

気象台からのお知らせ (イベント情報)

福岡県主催の県民の防災意識の向上と自主防災組織の設立促進・活性化を目的としたシンポジウムが開催されます。

平成 30 年度福岡県地域防災シンポジウム

日時 平成 31 年 3 月 16 日(土) 13:00~16:30 (12:30 開場・受付)

会場 パピヨン 24 ガスホール (福岡市博多区千代 1-17-1)

詳しくは福岡県ホームページをご覧ください。

ご意見をお寄せください

新しい「はれるんマガジン」にご意見をお寄せください。また、素朴な疑問や質問を募集します。電子メール、Fax、あるいは郵便（はがき、封書）で下の宛先までお送りください。お待ちしております。

編集後記

3月は2月に比べ暖かくなる日が多くなりそうです。季節の変わり目のこの時期、風邪などひかぬよう体調管理に注意が必要です。

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台はれるんマガジン編集部（防災調査課）

Fax : 092-725-3163 電子メール : fk-kanku@met.kishou.go.jp



次回の発行は4月中旬頃の予定です。